

☪明星【白川小だより】☺

学校HPへ
QRコードで
検索を！！



令和2年7月14日発行
第19号
文責：三谷



『であい、ふれあい、そして未来へ』～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～

夏休みまで後17日(登校回数11回)となりました。そろそろ梅雨明けが待たれるときですが、まだまだジメジメした日が続いています。梅雨が明けると本格的な夏となります。暑さ(猛暑・酷暑?)にうまく順応できるようにお子さんの体調管理等にも注意いただくようお願いいたします。



<夏休みこそ、子どもとの関わりと会話を!!>

夢を語る時、わたしたちは耀いています。これは、大人も子どもでも同じではないでしょうか。わが子に耀いてほしいと願うなら、まずお母さんやお父さん、おじいちゃん、おばあちゃんが夢を語る大人であってほしいと思います。その夢を実現するために、どんな目標を持って生活しているのかお話してほしいと思います。仕事や趣味や勉強のことだけではありません。目標を持って生活するというのは、いろいろな計画を立てたり、自分が決めたことをきちんと実行しなければいけません。それができた一日は、とても気持ちのいいものだと、子どもと



一緒に確かめていくことが大事ではないでしょうか。子どもの輝きは、自分が成長していることを実感できたときに生まれます。四ヶ月前(1学期初め)にできなかったことができるようになった。一年前には夢でしかなかったことができるようになった。そんな喜びを、夏休み中にご家族で声をかけ合いながら夏休みを過ごしてください。



<昔の様子は・・・??白川の歴史を学習しました>Part2←7月13日(月)

3・4年生の子どもたちが、総合的な学習の時間の一環として地域の方をゲストティーチャーとしてお招きして、「白川地区の昔のことを調べよう」をテーマに地区の昔の様子について教えていただきました。第2回目は小川地区の様子について佐野重雄さんから地区にあった小川城館跡やニゴリ池近くにある炭焼き小屋、地区のお地藏さんを実際に見学して佐野さんから説明を聞きました。佐野さんの幼少期にどのような様子であったのかを詳しく教えていただきました。子どもたちは自分が住んでいる地区についてもまだまだ知らないことがたくさんあり、新たな発見をしたようで真剣にお話を聞く姿がみられました。また、地域の方からお手玉と鶴をいただきました。

ました。



<合言葉は「お・は・し・も」> ←7月10日(金)避難訓練 to 体育館



地震からの火災発生という想定で、1回目の避難訓練を行いました。あいにくの雨模様でしたので、避難場所を体育館に変更しておこないました。子どもたちは、避難指示から、1分9秒で体育館に避難できました。避難中には話し声もなくすばやく避難できました。

近年、大きな自然災害(地震・前線からの線状降水帯による豪雨・台風等)が散発しています。日本は火山立国、プレート立国であるため、地震はいつでもどこでも起こる可能性があります。また、気候変動(偏西風の蛇行軌道、南海海域の海水温上昇等)による長時間にわたる局地的な豪雨も起きています。ご家庭においても、緊急時について話し合いいただくとともに、あわせて「台風・大雪」、「南海トラフ地震等の巨大地震」に伴う学校対応のお知らせ(5月配布)の確認もお願いします。

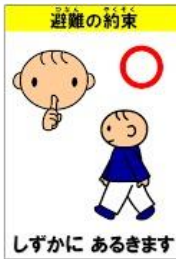


一次避難

二次避難準備

二次避難

| 避難の約束 | |
|-------|--------|
| お × | おさない |
| は × | はしらない |
| し × | しゃべらない |
| も × | もどらない |

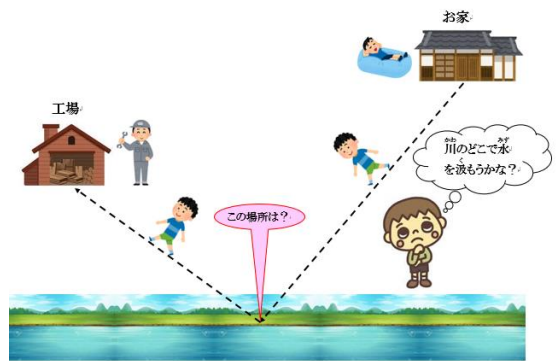


=白川小コラム=

【Question 1】

昔(むかし)、昔(むかし)、あるところに、仲良し(なかよし)の兄弟(きょうだい)が住(す)んでいました。兄(あに)は工場(こうば)で仕事(しごと)をして、弟(おとうと)はお家(おうち)にいました。

ある日(ひ)、弟(おとうと)が兄(あに)に水(みず)を届(とど)けることになりました。途中(とちゅう)にある川(かわ)で水(みず)を汲(く)んで工場(こうば)に向(む)かいました。最も(もつとも)短い(みじかい)距離(きょり)で水(みず)を届(とど)けるためには、川(かわ)のどの場所(ばしょ)で水(みず)を汲(く)んでいけばいいのでしょうか？



【Answer】

